

もり
「仙台うみの杜水族館」とスポンサーシップ契約を締結
—美しい海や海洋資源の保全と地域貢献の取り組み—

当社は、「仙台うみの杜水族館」におけるスポンサーシッププログラムに関し、仙台水族館開発株式会社との間で、美しい海や海洋資源の保全、地域における社会貢献などを目的として、スポンサーシップ契約を締結しました。



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

<具体的な取り組み>

東洋製罐グループは、「仙台うみの杜水族館」において2024年4月より開始した、循環型社会を目指したリサイクル推進活動「うみのもりサイクル」に協力しています。

「うみのもりサイクル」は、当社の連結子会社である東罐興業株式会社が開発したカップ洗浄機「Re-CUP WASHER（リカップウォッシャー）」を「仙台うみの杜水族館」のフードコートに設置し、使用済みの飲料カップをお客様自ら洗浄いただき、洗浄後の使用済みカップを分別回収する取り組みです。回収された紙コップは、日本製紙株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：野沢 徹）協力のもと、リサイクルに回します。また、フードコートで使用するコップの素材をプラスチックから紙に変更する際にも、東罐興業株式会社が企画・制作に協力し、新たに提供を開始しました。

これらの取り組みにより、これまでごみとして処分していたフードコートの使用済みコップを、リサイクル可能な資源として活用していくことを目指してまいります。



（「Re-CUP WASHING」が設置されている様子）



（新たに提供開始した紙コップ）

そして、現在、海藻などが二酸化炭素を吸収するブルーカーボン※の普及に向けて、当社の連結子会社である東洋ガラス株式会社が開発したガラス製品「イオンカルチャー（藻類増殖材）」等を用いた取り組みについても、「仙台うみの杜水族館」と検討を進めております。

今後も、当社グループは「仙台うみの杜水族館」と一緒に、水族館に足を運んでくれる方々が海と資源について楽しく理解し、環境貢献に参加できる仕組みをつくってまいります。



(イオンカルチャープレート。海洋植物の成長を促進する成分がゆっくりと水に溶け出す)

※国連環境計画（UNEP）が 2009 年に命名した、海洋生物の働きによって海洋環境に吸収・貯留されている炭素。ワカメやコンブなどの海洋植物は、大気中の CO₂ を光合成により吸収し、その一部を海底に長期貯留するという重要な役割を担っており、今後の地球温暖化対策として近年注目を浴びています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050 年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を 2021 年 5 月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進してまいります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

東洋製罐グループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・柿本

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以 上